

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168－0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120－782－031（フリーダイヤル） 受付時間 9：00～17：00（土日休日を除く）
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載 URL（ https://www.sunwa.co.jp/ir_info/index.html ）

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



第73期 中間株主通信

自 2020年4月1日 至 2020年9月30日



「NEXT 1800」の重点施策をスピーディーに遂行し、急速な環境変化を先取りする

代表取締役社長 田中 裕之

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症長期化の影響により、企業活動が抑制され、当社グループの主力事業分野である産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界では、自動車をはじめとする製造業の生産活動の停滞や、FA・産業機器分野の設備投資の先送りなど、依然として厳しい状況が続きました。その中で、IoTの浸透や次世代通信規格「5G」の商用化に伴う半導体製造装置関連ビジネス、工場自動化に向けたロボット導入などの設備投資に明るい兆しが見え、今後の受注拡大が期待されます。また、世界的な経済活動の停滞により、アミューズメント業界向けなど欧米・アジアのビジネスが低調な中で、中国市場がいち早く立ち上がりを見せ、グローバルビジネスの売上を牽引しました。

また、当社では企業体質強化のため、従来から経営コストの適正化・効率化に資する諸施策を遂行してきました。コロナ禍でそれらの取り組みをさらに加速化させ、販売管理費をはじめとするコスト削減を図ることで、上期として前年同期レベルの営業利益を確保することができました。

中間配当につきましては、株主の皆様への日頃のご支援に報いるべく、1株当たり17円の配当を実施いたしました。また期末配当も17円とし、年間配当を34円とさせていただく予定です。

非常事態への適切な対応により、仕事の“質”を高め続ける

当社では新型コロナウイルス感染症への対応として、今年2月、いち早く対策本部を立ち上げました。4月の緊急事態宣言発出後は、在宅勤務のリモートワーク体制に移行して業務を継続し、5月末の宣言解除後はお客様へのサービスの維持・向上を第一に、勤務体制を柔軟に変更してきました。

こうした円滑な対応を可能にしたのは、2018年6月に本格稼働した社内ITインフラ「SIS2018」などの積極的なIT投資と、従来から着実に進めてきた“働き方改革”の意識浸透です。業務環境の急激な変化の中で、全社員が常に前向きな姿勢で仕事に取り組むことができました。また事務所内では、執務室デスク間の飛沫防止パネルや本社事務所受付のサーマルカメラ（非接触検温装置）、空間除菌消臭装置の設置など、出社する社員や来訪いただくお客様への感染防止対策を徹底し、現在も継続しています。

当社を取り巻く事業環境は冒頭で申し上げたとおり、不透明な状況にありますが、第10次中期経営計画「NEXT 1800」の2年目として、主要仕入先様製品の売上拡大を最大のミッションとして代理店事業の強化を図り、その付加価値となるエンジニアリング事業は、従来から課題となっていた収益力も着実に向上しています。またグローバルSCMソリューション事業では、お客様の製造拠点移管のサポートビジネスが売上を牽引しています。

一方、グローバル事業は従来からの日系企業とのお取引に加え、存在感を増す現地の優良企業との新規ビジネスの開拓を目指して、ローカル社員のマネジメント力や経営力を磨くグローバルネクストリーダー研修をリモートで実施し、人材育成を進めています。

「NEXT 1800」の2年目下期については、産業全体として上期に底を打った感がある中で、主要分野である半導体製造装置関連ビジネスの受注拡大が期待されます。また、生産台数が回復しつつある自動車分野では、当社が取り扱う安全装置（衝突防止）やADAS（先進運転支援システム）、ハイブリッド車向けなど先端技術分野の車載機器装着率が増加しており、今後も仕入先様と連携して受注拡大を目指していきます。また海外は、引き続き中国市場が堅調に推移することでグローバルビジネスをリードしていくと予測しています。



空間除菌消臭装置
(エアロビュア)

本社事務所受付に設置したサーマルカメラ
(非接触検温装置)

既成の枠組みや常識を超えた柔軟な発想でビジネスを展開する

当社では今年7月から3カ月間にわたり、サンワグループアワード2020「ニューノーマル活動キャンペーン」を実施しました。本活動では新事業領域への挑戦の一環として、深紫外線LEDや空間除菌消臭装置など、新型コロナウイルス感染症対策関連商品の発掘にも取り組み、すでに大きな成果を出しています。仕入先様でも関連商品の開発が活発化する中で、当社としてさらなる商品・用途開拓に取り組みます。従来からのものづくり分野での提案・拡販活動に加え、今後も部店の枠組みを超えた全社横断の取り組みとして、新たなアイデアに基づく新事業の創出に挑戦していきます。

また、昨年7月に開設した「四国営業所（愛媛県新居浜市）」では、営業担当2名が現地に駐在し、アシスタントや管理などバックヤードを守るサポート機能は大阪支店がリモートで行う新たな体制で、お客様へのサービス向上に取り組んでいます。当社の伝統である顧客密着営業を基軸に、業

務効率を高めて管理コストをミニマム化する本取り組みは、近くに当社の営業所がある安心感と、スピーディーな対応力がお客様から高く評価されています。今年度中に新潟県長岡市と山梨県甲府市にも営業所を開設する予定で、“マイクロ営業所”とも呼べるこのサービス体制を全国に展開して、新たな時代に向けた当社の“ニューノーマル”にしていきたいと考えています。多様なご要望に応える信頼関係が重要な国内のお客様への、価格・納期を超えた当社独自の強みになると確信しています。

諸施策の実行を加速化し、企業価値を高める

当社では今年9月、「ビジョン・中期経営計画策定委員会」を発足しました。計画策定後に解散する従来のプロジェクト方式ではなく、営業企画室を中心に、計画ごとに優れた人材を結集してビジョンや経営計画を議論・検討することで、組織にノウハウや市場情報が継続的に蓄積される体制を整備しまし



た。また、将来を担う30歳代前半の社員による「サンワ100年を描く未来討論会」では、SDGs(※1)を視野に入れたバックキャスト(※2)により、30年後(100周年)の当社像を描き、10年後、20年後に成すべきことを議論しています。

現在、「NEXT 1800」の遂行は、コロナ禍という大きな試練に直面していますが、本計画での進むべき方向は、スタート時に掲げた方針と重点施策に変わりありません。変化した点は、事業フィールドであるものづくりの現場で、デジタル技術の導入による工場スマート化など、1～3年先の実現を目指していた施策を、今すぐ実行すべき状況になったことです。目指す方向や施策は同じでも、スピード感が変わりました。こうした急激な変化は当社が進化する好機であり、大きなビジネスチャンスです。下期も「NEXT 1800」で掲げた方針のもと、諸施策の遂行を一層加速化して計画を完遂し、企業価値をさらに高めていきます。

当社では、今後も株主の皆様への安定配当の継続を目指してまいりますので、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※1 持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に明記された2030年までの国際目標。
※2 目標となる未来を定めた上で、そこを起点に現在を振り返り、今何をすべきか考える未来起点の発想法。

第10次中期経営計画（2019年度～2021年度）

NEXT 1800

サンワビジョン 2025
明るい未来を創る サンワテクノスグループ



2019年度 創立70周年のその先へ
独立系技術商社として進化を続け、成長を加速させます

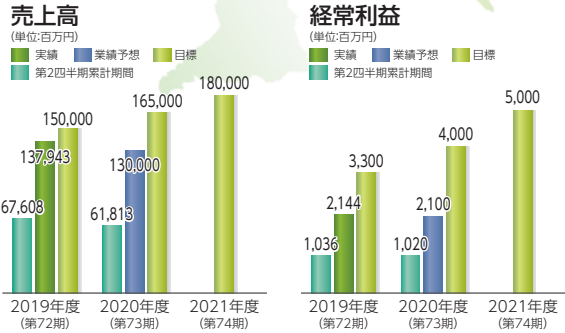
◆方針

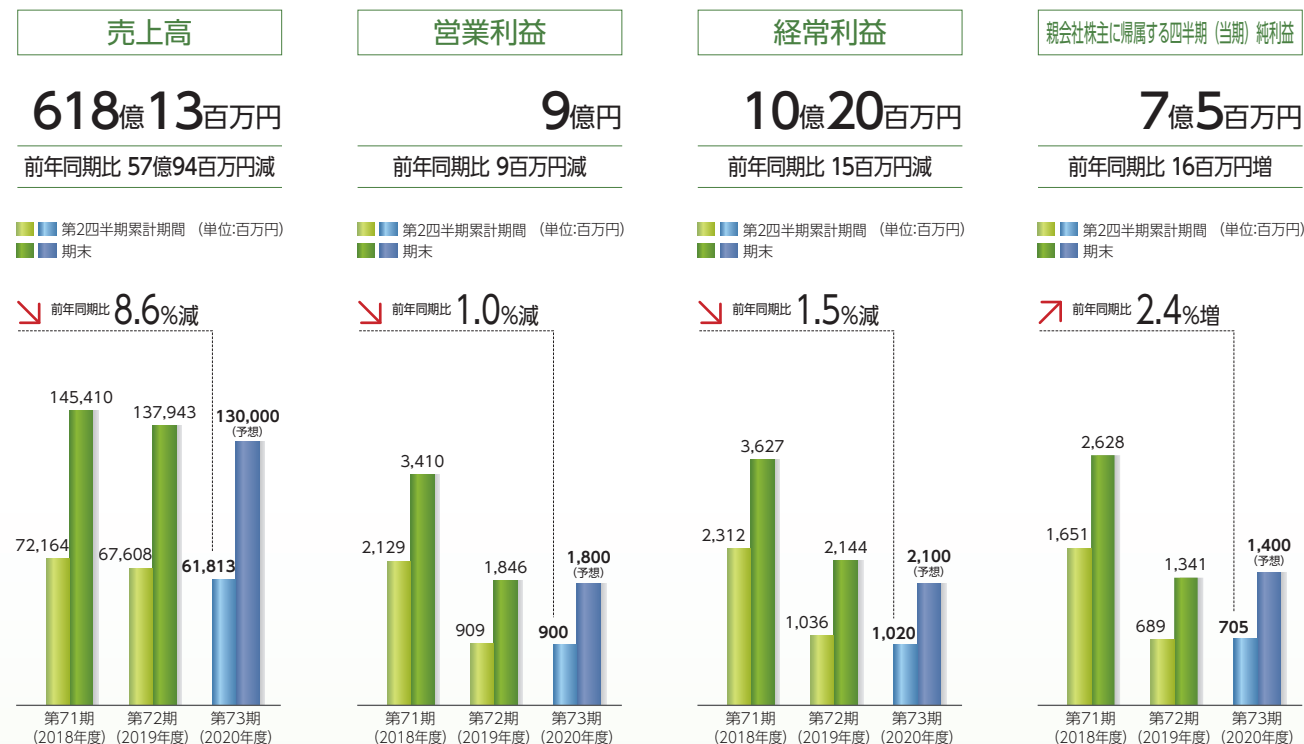
- コアビジネスの強化でお客様のものづくりに貢献する
- グローバル事業を拡大し市場の需要をサポートする
- 新事業領域へ挑戦し持続的成長を加速する
- 持続可能な社会の実現への取り組み

◆実績及び経営目標数値

	2019年度実績	2020年度	2021年度
売上高	137,943	165,000	180,000
営業利益	1,846	3,800	4,800
営業利益率	1.3%	2.3%	2.7%
経常利益	2,144	4,000	5,000
経常利益率	1.6%	2.4%	2.8%

◆進捗





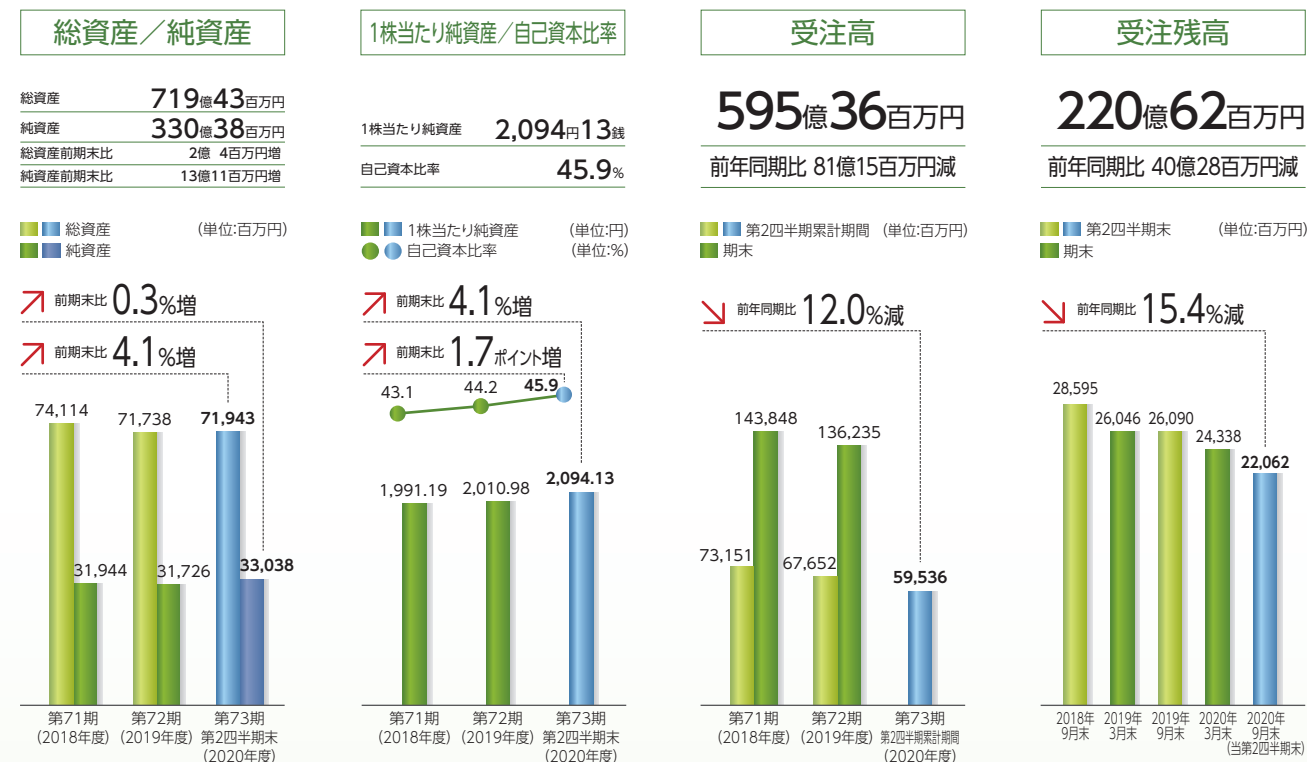
決算ハイライト

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業活動、経済活動が抑制され、依然として厳しい状況となりました。感染防止対策に伴う経済活動の停滞により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、製造業各社の工場の操業低下、設備

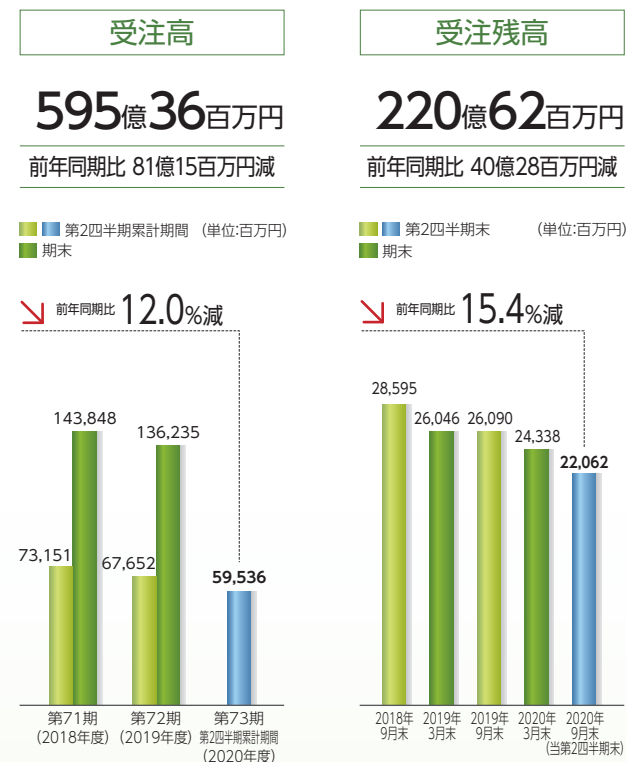
投資の先送りなどにより、依然として厳しい状況が続いておりますが、半導体関連業界の受注回復、ロボットによる工場自動化に向けた設備投資、新型コロナウイルス関連商材の受注拡大などが期待されます。

このような環境の中で当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高、営業利益、経常利益は前年同期を下回り、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を上回る結果となりました。



通期の見通し

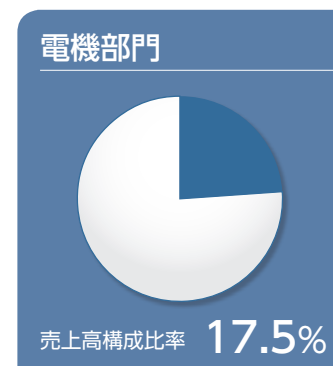
通期の見通しにつきましては、依然不透明な状況が続くことが予想されますが、当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界は、今後緩やかに需要回復が見込まれ、引き続き全般的な経費節減に努めることなどを勘案し、2020年7月30日に公表した通期連結業績予想を右記の通り修正いたしました。



第73期 通期業績予想

売上高	130,000百万円（前年同期比5.8%減）
営業利益	1,800百万円（前年同期比2.5%減）
経常利益	2,100百万円（前年同期比2.1%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400百万円（前年同期比4.4%増）
1株当たり当期純利益	88円74銭

（注）業績予想につきましては、2020年10月30日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。



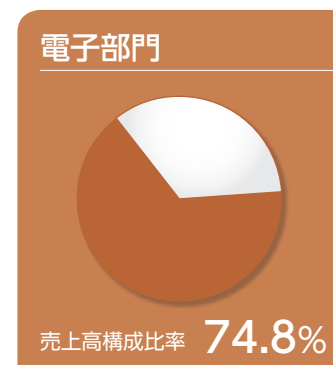
電機部門では、産業機械業界向け及び情報通信業界向けの電機品の販売が増加いたしました。環境エネルギー業界向けの電気品の販売が減少いたしました。

主な営業品目

ACサーボモータ、リニアモータ他各種モータ、インバータ、マシンコントローラ、マシンビジョンシステム、半導体製造装置用クリーンロボット・真空ロボット、パワーコンディショナ、受変電設備及び工事等



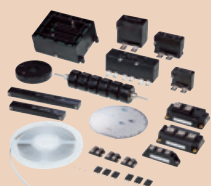
ACサーボモータ



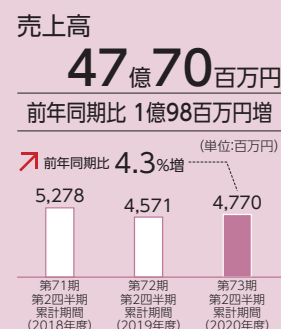
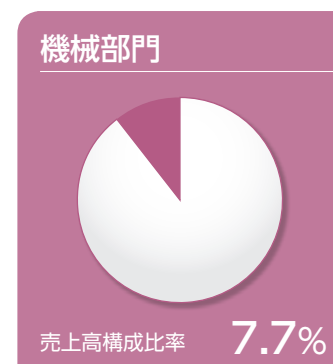
電子部門では、自動車関連搭載向け及びアミューズメント業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。

主な営業品目

電源、コネクタ、半導体、センサ、小型ファン、LED（発光ダイオード）、LCD（液晶ディスプレイ）、タッチパネル、産業用パソコン、CPUボード、メモリモジュール等の各種電子部品及び機器等



ダイオード



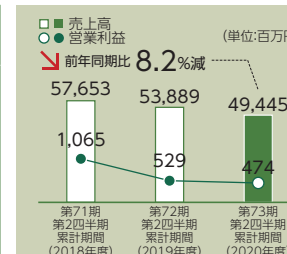
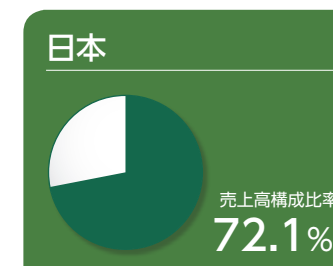
機械部門では、FPD（フラットパネルディスプレイ）関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。産業機械業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。

主な営業品目

半導体関連製造設備、産業用ロボット、液晶・パネル搬送用クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、風水力機器、空調・厨房設備、環境保護機器及び装置、各種検査装置、医療機器等

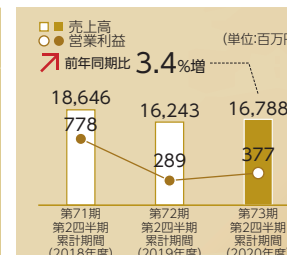
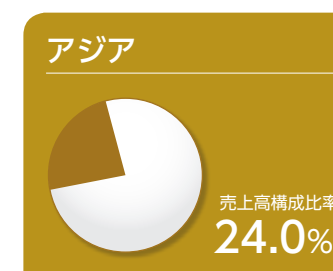


双腕ロボット



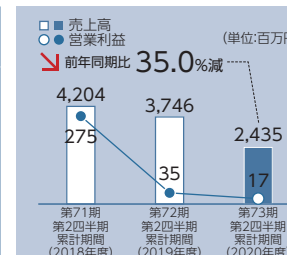
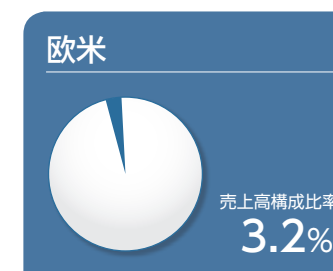
売上高 **494億45百万円**（前年同期比 44億43百万円減）
営業利益 **4億74百万円**（前年同期比 55百万円減）

産業機械業界向け及び情報通信業界向けの電機品、FPD関連業界向け及び産業機械業界向けの設備機器の販売は増加いたしました。自動車関連搭載向け及びアミューズメント業界向けの電子部品及び産業機械業界向けの生産設備の販売は減少いたしました。



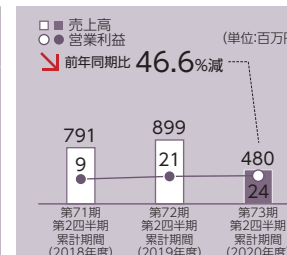
売上高 **167億88百万円**（前年同期比 5億45百万円増）
営業利益 **3億77百万円**（前年同期比 88百万円増）

アジア地域では、産業機械業界向けの電機品、産業機械業界向け及び半導体関連業界向けの電子部品、FPD関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。産業機械業界向け及びアミューズメント業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。



売上高 **24億35百万円**（前年同期比 13億11百万円減）
営業利益 **17百万円**（前年同期比 18百万円減）

欧米では、アミューズメント業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。



売上高 **4億80百万円**（前年同期比 4億19百万円減）
営業利益 **24百万円**（前年同期比 3百万円増）

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

（注1）売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。

（注2）上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。

ヨーロッパ

SUN-WA TECHNOS (EUROPE) GmbH
フランクフルト

リュブリャナ

アメリカ・メキシコ

グリーンビル
(サウスカロライナ)

シカゴ

ケレタロ

ロサンゼルス

SUN-WA TECHNOS AMERICA, INC.
SUN-WA TECHNOS MEXICO S.A. DE C.V.

中国・香港・台湾

天津
大連
瀋陽

蘇州

上海

上海メカトロセンター

杭州

台北

台中

台南

香港

香港物流センター

SUN-WA TECHNOS (H.K.) CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS (TAIWAN) CO., LTD.
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS (SHENZHEN) CO., LTD.

ASEAN

ハノイ

バンコク

ホーチミン

マニラ

クアラルンプール

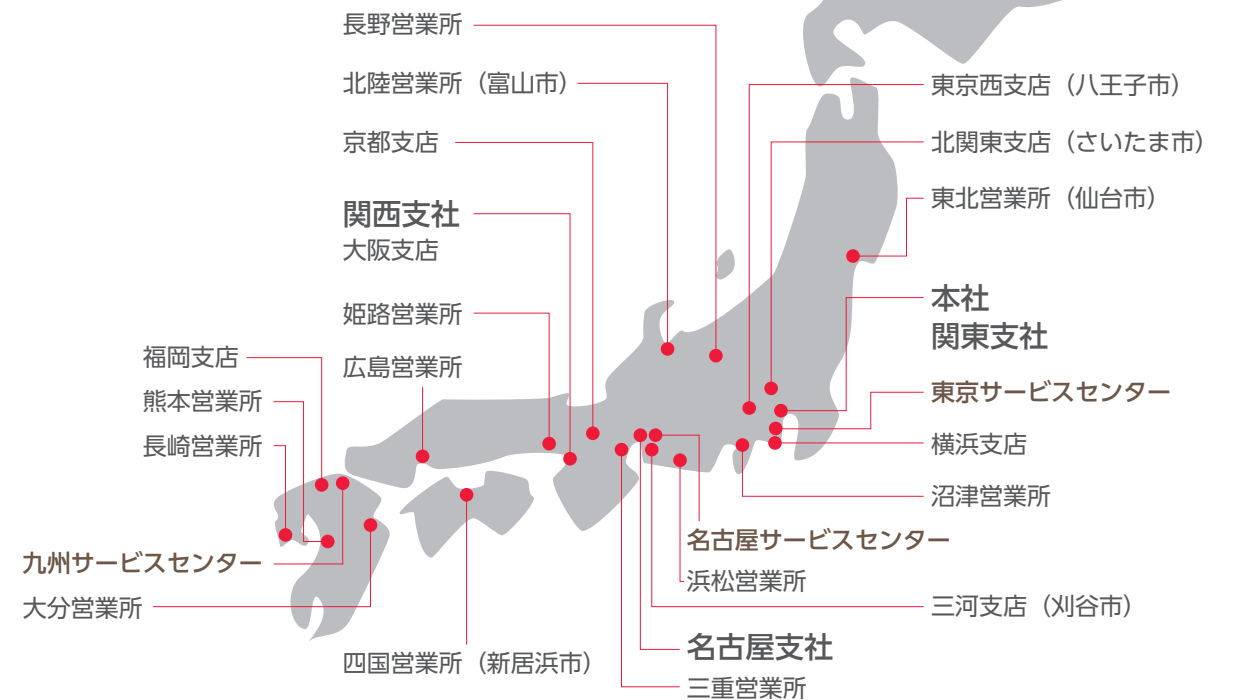
シンガポール

ジャカルタ

SUN-WA TECHNOS (SINGAPORE) PTE LTD.
SUN-WA TECHNOS (MALAYSIA) SDN.BHD.
SUN-WA TECHNOS ASIA (THAILAND) CO., LTD.
PT. SUNWA TECHNOS INDONESIA
SUN-WA TECHNOS (PHILIPPINES), INC.
SUN-WA TECHNOS (VIETNAM) CO., LTD.

国内

サンワテクノス株式会社



サンワトリニティ株式会社

サンワロジスティック株式会社

各拠点の住所と連絡先は当社ホームページ「拠点」をご覧ください。

<https://www.sunwa.co.jp/>

サンワテクノス 検索

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)		
科目／期別	前期 2020年3月31日現在	当第2四半期 2020年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	62,713	61,420
固定資産	9,024	10,523
有形固定資産	2,759	2,687
無形固定資産	193	173
投資その他の資産	6,072	7,661
資産合計	71,738	71,943
(負債の部)		
流動負債	35,402	33,849
固定負債	4,608	5,055
負債合計	40,011	38,904
(純資産の部)		
株主資本	29,552	29,990
その他の包括利益累計額	2,174	3,048
純資産合計	31,726	33,038
負債及び純資産合計	71,738	71,943

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)			
科目／期別	前第2四半期累計期間 皇 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当第2四半期累計期間 皇 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	
売上高	67,608	61,813	
売上原価	60,623	55,093	
売上総利益	6,984	6,719	
販売費及び一般管理費	6,075	5,819	
営業利益	909	900	
営業外収益	210	200	
営業外費用	83	79	
経常利益	1,036	1,020	
特別利益	－	7	
特別損失	－	9	
税金等調整前四半期純利益	1,036	1,019	
法人税等	347	313	
四半期純利益	689	705	
親会社株主に帰属する四半期純利益	689	705	

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)			
科目／期別	前第2四半期累計期間 皇 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当第2四半期累計期間 皇 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,251	1,696	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74	△62	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△308	△75	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	△104	
現金及び現金同等物の増減額	2,763	1,454	
現金及び現金同等物の期首残高	9,521	11,568	
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,284	13,022	



会 社 の 概 要

(2020年9月30日現在)

商号	サンワテクノス株式会社
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F
設立年月日	1949年11月4日
資本金	37億2,700万円
発行済株式の総数	16,044,000株
従業員数	611名（連結1,053名）
ホームページ	https://www.sunwa.co.jp/
事業内容	メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント 用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事 各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FA システム、通信・情報機器等の販売 半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーン ロボット、基板関連装置、物流搬送装置、風水力 機器、各種検査装置、医療機器等の販売

株 式 の 状 況

- 発行可能株式総数 33,380,000株
- 発行済株式の総数 16,044,000株
- 株主数 4,767名
- 大株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	858,800 株	5.44 %
株式会社安川電機	797,280	5.05
第一生命保険株式会社	729,960	4.62
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	723,200	4.58
光通信株式会社	652,000	4.13
株式会社オリジン	498,000	3.15
オークマ株式会社	435,600	2.76
山田 益二郎	397,400	2.51
株式会社りそな銀行	395,160	2.50
株式会社三菱UFJ銀行	395,160	2.50

(注) 1. 「持株比率」は自己株式（267,144株）を控除して計算しております。
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行は、2020年7月27日付で、商号を株式会社日本カストディ銀行に変更しております。

役 員

(2020年9月30日現在)

代表取締役会長 代表取締役社長 社長執行役員 取締役専務執行役員 取締役常務執行役員 取締役上席執行役員 ※取締役 ※取締役	山 本 勢 田 中 裕 之 三 根 省 一 郎 花 山 八 広 徳 郎 松 尾 晶 眞 敏 青 木 泉 敏 郎
常勤監査役 常勤監査役 ※監査役 ※監査役	武 後 和 仁 中 村 康 男 上 野 啓 一
※取締役 青木眞徳及び小泉敏郎の両氏は、社外取締役であります。 ※監査役 中村康男及び上野啓の両氏は、社外監査役であります。	
常務執行役員 上席執行役員 上席執行役員 執行役員 執行役員 執行役員	牧 野 利 彦 高 松 賢 治 上 坂 秀 昭 宮 崎 一 彦 越 後 洋 一 玉 木 克 也

(2020年9月30日現在)

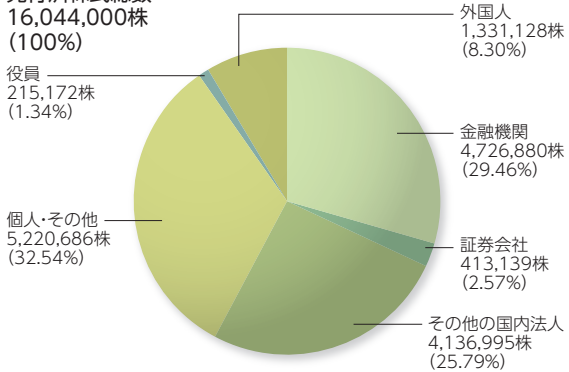
5. 株式の分布状況

(所有者別)

発行済株式総数
16,044,000株
(100%)

役員
215,172株
(1.34%)

個人・その他
5,220,686株
(32.54%)



● 田中社長セミナー講演「withコロナ時代 ― 日台で切り拓く新ビジネスチャンス」

2020年9月15日（火）にTKP品川カンファレンスセンターで開催された、TJPO（台日産業連携推進オフィス Taiwan-Japan Industrial Collaboration Promotion Office）主催セミナー「withコロナ時代 ― 日台で切り拓く新ビジネスチャンス」に田中社長が登壇いたしました。

TJPOは、台湾経済部（日本の経済産業省に相当）において日台産業連携のための推進プロジェクトの窓口として設置されたオフィスです。

本セミナーは会場とオンラインでの同時開催で、田中社長は『コロナ禍における日本のビジネスの展望』をテーマに、日本の新型コロナ感染拡大防止対策の状況、当社の感染防止対策、営業活動への直接的打撃、コロナ禍での密接営業についての課題などについて講演し、セミナー参加者の方々との相互理解を深めました。



● 2020年度 サンワテクニカルセミナー'21のお知らせ

当社のお客様に技術商社として市場動向を捉えた最新の情報をご提供する「サンワテクニカルセミナー'21」を本年度も開催いたします。

今回のテーマは『デジタル生産*』と題して、2020年12月の株式会社東芝 執行役上席常務（東芝デジタルソリューションズ株式会社 取締役社長）島田太郎様のご講演を皮切りに、オンラインで開催いたします。（詳細は当社ホームページでご案内しております。）

当社では、今後もお客様のお役に立てる最新・最先端の技術情報をご紹介しますまいります。

※デジタル生産：5G、IoT、AI（人工知能）など、驚異的な成長を遂げている新たなデジタル技術を駆使した製造現場やそこで使用される製品技術

● 個人投資家様向け会社説明会のご案内

個人投資家様向けに会社説明会を開催いたします。

田中社長より会社概要、第10次中期経営計画「NEXT 1800」、業績、株主様への利益還元などについて説明いたします。

当社では、このような会社説明会はもとより、様々なIR活動を通して、投資判断に必要な情報開示を積極的に適時継続して行い、証券市場での知名度向上及び安定的な個人株主の増加を図っております。

■今後の開催予定

2020年12月5日（土） 仙台

2021年3月6日（土） 広島

開催日が近づきましたら、ホームページ（<https://www.sunwa.co.jp/ir/calendar/>）に詳細を掲載いたします。



● IR放送のご案内

IR活動の一環として、ラジオNIKKEIの番組に田中社長が出演しております。

放送内容は当社の事業概要、特徴、業績、第10次中期経営計画「NEXT 1800」など。なお、ラジオNIKKEIのホームページにて動画の配信も行っております。

（詳細はラジオNIKKEIホームページをご覧ください。<http://market.radionikkei.jp/8137ir/>）

■ラジオNIKKEI 第1 15時25分頃～

「ザ・マネー」内コーナー「サンワテクノスIR特集」

2020年度放送日

第1回 2020年6月17日(水)終了	第2回 2020年8月5日(水)終了
第3回 2020年11月11日(水)終了	第4回 2021年2月3日(水)予定

第1～3回の放送は終了し、オンデマンドで配信中です。

